

【活用にあたって】

現在の子どもたちの日常生活を見た時、身近に日本の文化や歴史を感じる場面は少ないといえるでしょう。この記事にあるような、日本各地に伝わる祭りに参加したり学んだりすることは、文化を守りながら人々がつないできた歴史を確認する貴重な機会だといえると思います。

単元の目標も「昔から続く地域の祭りについて調べたことをまとめ、地域の人々の思いや願いについて考える」です。

4年生の国語科「ごんぎつね」に登場し、6年生の社会科で学ぶことになる「火縄銃」ですが、祭りとはいえ現在も実際に使われていることに子どもたちは驚くことでしょう。そうした驚きが、他の祭りや伝統文化を調べ考えていこうという意欲につながるのではないのでしょうか。

難しい漢字も出てくるので一緒に読んで取り組まれるとよいと思います。

解答例

問1：^{せんごく}戦国時代

問2：馬 ・ 神社 ・ ^{ひなわじゅう}火縄銃

問3：格好：^{たび}足袋にもんぺ、はんてん^{すがた}姿

人数：約250人

発展：^{ひなわじゅう}(火縄銃)の(ごう音)から